



佐仁っ子



佐仁小学校キャッチフレーズ「蝶と太鼓と読書の佐仁小」 令和7年2月25日発行

※ この学校だよりは、『佐仁小学校ホームページ』でも公開します。どうぞ御覧ください。

沢山の体験活動をありがとうございました！

校長 ○○○○

2月14日にあった黒糖づくり。

その最後に○○○○さんが「昔は甘いものと言ったら黒糖しか無かったから、一生懸命煮詰めて1年分作って、お客さんが来たときには大事に大事にお出ししていたんですよ。」と教えてくださいました。

佐仁っ子たちは、サトウキビ栽培からウギパギ、黒糖づくりまでの貴重な体験を毎年積み重ねることで、その裏にある昔のシマの人々の厳しい生活や願いを、深く理解することができるようになります。体験に勝る学習はありませんし、体験した方から学ぶことほどかけがえのないことはありません。「煙で目が痛かった。」「黒糖がボコボコいってた。」「時間がかかったねえ。」「こゆくて美味しかった。」今回の様々な感想や気付きが、豊かな郷土愛や郷土理解に繋がっていくことでしょう。強い風が吹く寒い中、ウギパギや黒糖づくりに御協力いただいた保護者・地域の皆様、本当に本当にありがとうございました。お陰様で、何事にも代えがたい貴重な伝統継承活動を今年も行うことができました。

その他にも、海遊びや、シマグチ・島唄・八月踊り・佐仁音頭等の指導、グラウンドゴルフや昔遊び体験、運動会や学習発表会、持久走大会等の行事への御協力、蝶のお世話や蝶小屋の修理、しょうにんじんやパッションフルーツ栽培等々、この一年も、地域の皆様に支えられ、佐仁ならではの特色ある充実した教育活動が行えましたこと、感謝に堪えません。子供たちをご自分達の孫やひ孫のようにかわいがってくださるお姿に、毎回感動しております。本当にありがとうございました。児童も職員も、皆様の御協力に負けないよう、地域貢献活動に邁進して参ります。

来年度におきましても、どうか健康には十分留意され、力強く佐仁小を支えていただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。



今月のスマイルさん



3月の主な行事予定

- 4日(火) なわとび発表会、学級PTA
PTA全体会、家庭教育学級
- 6日(木) 理科出前授業(9:35~11:30)
- 8日(土) 土曜授業
- 11日(火) こころの劇場(5・6年)
- 14日(金) 卒業式予行練習
- 24日(月) 卒業式
- 25日(火) 修了式、離任式
PTA・校区合同送別会



鹿児島をまるごと味わう学校給食週間がありました。

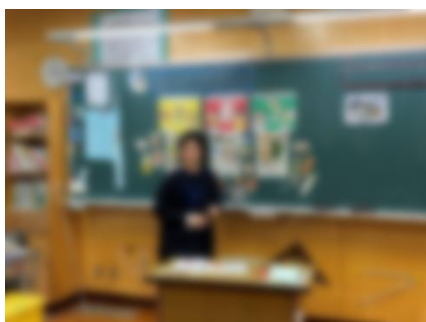
毎日の給食は笠利給食センターで作られ、食材は奄美市を含めた鹿児島県内でとれた新鮮で安心・安全なものを使用しています。学校給食週間（1月21日～26日）では、子供たちが奄美や鹿児島の郷土料理・特産物に興味や親しみをもてるような給食メニューになっていたり、栄養教諭をお招きしての栄養教室があったりします。

今回は笠利給食センターから〇〇先生をお招きして3年生以上に栄養教室がありました。給食センターでは「子供たちの成長に必要な栄養素がしっかりとれるように献立が考えられている」「奄美の新鮮な野菜や果物などを使うことで、奄美の季節の味を楽しめるようにしている」ことについて教えていただきました。また、五大栄養素（炭水化物、タンパク質など）のはたらきについても教えていただき、子供たちは体の成長や病気の予防のために、バランスよく食べようという意識を今まで以上にもつことができたようです。

今回の鹿児島をまるごと味わう学校給食週間では、地元食材の良さや食事を通して健康を維持・管理することの大切さなどを学ぶことができました。子供たちはこれからもおいしい給食をたくさんいただきます。関係者の皆様ありがとうございました。

【鹿児島をまるごと味わう学校給食週間のメニュー（一部）】

- ・もずくの味噌汁 ・しびのフルソース ・さつまのポテト ・県産小麦パン
- ・鶏肉のたんかんジャム焼き ・パパイヤのごま和え ・鶏飯 ・かしゃもち



〇〇〇〇さん

栄養は3つに分かれていて、それぞれのはたらきがわかってよかったです。これからも給食や家のご飯は好き嫌いせずに栄養をしっかりとって健康な体にしたいです。



3年生の社会科見学がありました。

富国製糖、大島消防組合笠利分署、赤木名駐在所を見学する3年生の社会科見学がありました。子供たちは初めて富国製糖の工場の中に入り、多くの機械が大きな音を立てながらサトウキビを砂糖へ精製しているところを見て驚いていました。大島消防組合笠利分署では、数台の消防車を間近で見ることができ、救急車の中も見学することができました。赤木名駐在所では警棒や防護盾に触れることもできました。「百聞は一見に如かず」といいます。学校では学ぶことができないことを実際に見て多くのことを学ぶことができました。関係者の皆様ありがとうございました。



〇〇〇〇さん

消防車や救急車に乗れてうれしかったです。富国製糖では、サトウキビからできた砂糖をなめたらサラサラしていてとてもおいしかったです。



青少年読書感想文全国コンクールで2位になりました。

第70回青少年読書感想文全国コンクールにおいて、4年生の〇〇〇さんが2位となる優秀作品「毎日新聞社賞」を受賞しました。受賞作品はヨシタケシンスケさん著の「不満があります」を題材に、父親に対する不満が多かった本人が、あることをきっかけに不満より感謝の方が多くしていく内容です（別紙に全文を掲載しております。ぜひ御覧下さい。）。



6日(木)に東京都千代田区にある経団連会館にて表彰式があり、多くの受賞者や関係者が集まり、また、秋篠宮御夫妻が御臨席なされる中、〇〇さんは立派に表彰を受けていました。表彰式後には記念パーティーもあり、全国の子供たちと交流を深めることもできました。

〇〇さんにとっては初めて奄美大島を離れ、飛行機に乗ったり、ホテルに泊まったりしたことはもちろんのこと、大都会の東京では満員電車を体験し、原宿でスイーツを食べたり、渋谷で人の多さとネオンのきらびやかさに驚きながら買い物をしたりできました。佐仁に帰ってから友達とのお土産話はとてもはずんだようです。

今回の受賞は〇〇さんにとって大きな自信につながり、今後、多くのことに挑戦していく姿勢が見られることでしょう。また、他の子供たちにも勇気を与え、努力する意欲が高まることでしょう。そして、学校や佐仁校区にとっても誇らしい出来事になりました。



〇〇〇〇さん

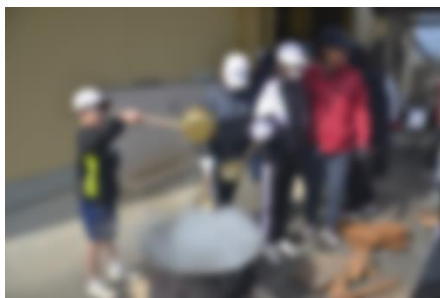
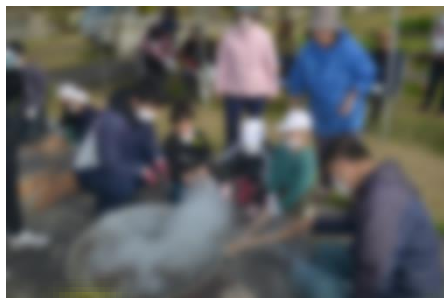
表彰式では、たくさんの人が集まっていた緊張しましたが、しっかり返事をして起立することができました。初めての東京は、原宿で食べたじゃがいもの串焼きみたいなものがとてもおいしかったです。また行きたいです。

黒糖作りがありました。



14日(金)に佐仁校区の方々と黒糖作りを体験しました。前日にウギパギを行い、サトウキビを刈り、葉を取り除き、茎を軽トラックに乗せ、富国製糖へと運びました。当日は大きな釜でキビ汁をじっくりと煮詰め、途中で石灰を加えたり、不純物を取り除いたりしながら作りました。子供たちは、熱気あふれる釜の前で焦げ付かないようにかき混ぜたり、キビ汁が沸騰するように薪をくべて火を燃やし続けたりしました。やがて輝いてみえる黒糖が完成し、子供たちは自分たちでつくった黒糖の甘さに感動していました。

今回も〇〇〇〇さんを中心に、多くの地域の方に黒糖作りを教わることができ、奄美古来の伝統を体験することができました。ありがとうございました。



〇〇〇〇さん

はじめて黒砂糖を作りました。けむりが目に入って痛かったけれどがんばりました。サトウキビが黒砂糖に変わってすごいと思いました。来年も挑戦したいです。

奄美市・群馬県みなかみ町交流事業

5年生の〇〇〇〇さんが7日（金）からの群馬県みなかみ町で過ごす冬の交流に参加しました。夏の交流では奄美でマリブブルーの海に入ったり、塩作り体験をしたりしましたが、冬の交流はウィンタースポーツを楽しみました。

温暖な気候で雪の降らない奄美で暮らす子供たちにとって、雪に囲まれた環境はとても新鮮だったようで、雪国ならではのかまくらづくりや雪合戦など、多くの雪遊びを満喫し、スキー体験では楽しく滑ることができたそうです。〇〇さんのホームステイ先には暖炉があり、家の中はとても暖かかったそうです。

今回の交流を通じて、自然や文化の違いに気づき、みなかみ町の人々とのつながりも深めることができた貴重な体験となりました。



〇〇〇〇さん

奄美では体験できないスキーやかまくら作り、雪合戦、ソリ滑りの体験ができて、とてもいい交流事業に参加することができました。ホームステイ先の家族にもお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

SOS の出し方教室がありました。

本校のスクールカウンセラーを担当している〇〇先生によるSOSの出し方教室がありました。5・6年生を対象に行われ、子供が不安や悩みを抱え、時には命の危機に直面したとき、誰に、どのように助けを求めればよいかを学ぶ学習をしました。今回の授業を通して子供たちは「困ったら誰かに相談する」、「友達に相談されたら真剣に聞くようにする」などについて理解することができました。水野先生、ありがとうございました。



〇〇〇〇さん

友達から相談を受けたときには、友達と一緒に話を聞きたいです。また、つらい気持ちになったときは、自分一人で悩まず友達や家族、先生に相談したいと思います。

予告なし避難訓練がありました。

予告なし避難訓練を実施しました。子供たちに避難訓練があることを伝えずに、掃除時間に大きな地震が起きたという想定で実施しました。地震の放送が流れると、廊下やトイレ、理科室などで掃除をしていた子供たちは、驚きながらも落ち着いて近くの机の下に身を隠すことができました。地震はいつ、どこで起きるか分かりません。家でも学校でもどんな状況でも、自分の身を守ることができるように落ち着いて行動し、日頃から避難の仕方を意識しておきましょう。

